

## 聖火リレー

## 東京2020オリンピック聖火が日本に到着

2020年3月20日



鮮やかに5色のオリンピックシンボルカラーを描くブルーインパルス

式典の冒頭には、東京2020聖火リレー公式アンバサダーでパラリンピアン<sup>1</sup>の田口亜希さん、女優の石原さとみさん、漫才師のサンドウィッチマンの伊達みきおさんと富澤たけしさんのお2人が登壇。この日まで、アンバサダーとして、様々な活動をしてきたことについて、「アンバサダーになって約1年。この日をワクワクしながら待っていました。ギリシャから火が届いて、ここから日本で皆さんの願いをつなげていけることをうれしく思います」（田口さん）、「聖火リレーは1人1人が主役なんだと感じました。走る日までに自分がどんな自分になって、どんなふうに取り組んでいくかでその後の人生が決まっていくなと思いました」（石原さん）と、振り返っていました。



東京2020聖火リレー公式アンバサダーの（左から）伊達さん、富澤さん、石原さん、田口さん

その後、聖火を乗せた「TOKYO 2020号」から、東京2020聖火リレー公式アンバサダーでオリンピックの野村忠宏さんと、同じくオリンピックの吉田沙保里さんが、聖火が入ったランタンを受け取り、それを森喜朗東京2020組織委員会会長らとともにステージ上に運んでいきます。そして火をつけたトーチを持った野村さんと吉田さんが聖火皿に点火しました。



山下泰裕日本オリンピック委員会（JOC）会長、野村忠宏さん、吉田沙保里さんと聖火を運ぶ森喜朗会長

それと同時に、この聖火到着式を記念して展示飛行を行う航空自衛隊の展示飛行チーム「ブルーインパルス」が、東京1964オリンピックの開会式と同じように上空にカラースモークで「オリンピックシンボル」を描きました。



展示飛行を行うブルーインパルス

ブルーインパルスを操縦した飛行隊長2等空佐 福田哲雄さんは、飛行後「ホッとしています。風は強かったものの、飛ぶことができてよかったです。細かいところからいろいろな準備を積み重ねていたんで、その成果を披露できてうれしさがこみあげてきました」と話し、達成感をにじませていました。

東京2020オリンピック聖火リレーは、宮城、岩手、福島県の3県での「復興の火」の展示を経て、2020年3月26日（木）、ナショナルトレーニングセンター「ヴィレッジ」でグランドスタートします。

- [組織委員会について](#)
- [お問い合わせ](#)
- [ウェブアクセシビリティについて](#)
- [リンク](#)
- [利用規約](#)
- [個人情報保護方針](#)
- [クッキーポリシー](#)
- [サイトご利用にあたって](#)
- [サイトマップ](#)
- [報道関係者の方へ](#)